

令和5年度 第1回健康おかざき21計画推進協議会 会議録

日時:令和5年8月23日(水) 午後1時30分から3時00分まで

場所:岡崎歯科総合センター 2階 会議室

出席委員:安藤委員(議長) 青木委員 浅田委員 阿部委員 梶原委員 畔柳委員 小出委員  
杉原委員 東原委員 守谷委員

欠席委員:市川委員 長谷川委員 福山委員

傍聴者:2名

事務局:保健部長 安藤 保健所長 片岡  
保健部次長 野澤 保健政策課長 佐々木 保健政策課副課長 筒井  
保健政策課保健政策係長 石原 保健政策課施設整備係長 勝田  
他保健政策課職員3名

内容:開会

部長挨拶

議題

- 1 健康おかざき21計画(第2次)の今年度のスケジュール等について
- 2 令和5年度の取組について

保健所長挨拶

閉会

議題1 健康おかざき21計画(第2次)の今年度のスケジュール等について

事務局	資料1「令和5年度 健康おかざき21計画推進協議会」の議題1「健康おかざき21計画(第2次)の今年度のスケジュール等について」説明
議長	事務局の説明の中で、健康おかざき21計画(第2次)を令和6年度末まで延長するとの報告があった。この件について委員の皆様の承認を得たい。
全委員	承認。
議長	第2次計画を令和6年度まで延長することについてすべての委員から承認が得られた。

議題2 令和5年度の取組について

事務局	資料1「令和5年度 健康おかざき21計画推進協議会」の議題2「令和5年度の取組について」の①スマートウェルネスシティの推進について説明
議長	事務局の説明について、御意見、御質問があればお願いしたい。
委員	家康めしについて、定義であつめ汁、とろろ汁という2種類の汁物になっている。あつめ汁とは何か。また、令和5年2月から開始し、4店舗ということで少し寂しいのだが、これは今後増やしていくのか、また知らない人も多いと思うが周知はどのように行っているのか。
事務局	あつめ汁は八丁味噌を使用した野菜たっぷりの汁物で、野菜たっぷりのメニューである。とろろ汁については4店舗のうち、いくつかの店舗で提供いただいている。定義については、食文化史研究家の永山先生にも御助言をいただきながら作成しているものになる。

	<p>店舗数は徳川四天王にあやかり、4店舗に御提供いただいております、今後増やす予定はない。家康めしについては、ハレの日のメニューというイメージで、日常的に食べていただくのは難しいかなと考えている。一方、三河武士ごはんについては、市民の皆様積極的に味わっていただけるような形で、和食洋食中華など様々な店舗で提供していただけるような間口の広さで選んでいただけるようにし、そこから、バランスのよい食生活を意識していただけるような展開を考えている。</p> <p>周知はポスターやチラシ等を観光協会等での掲示・設置してもらったほか、いくつかテレビ局でもとりあげていただいたが、周知について不十分な面もあるため、今後検討していきたい。</p>
委員	<p>家康めしや三河武士ごはんについて、ウォーキングアプリ OKAZAKI♥まめぼで連携、例えば食べていただいた方にポイントを付与する等を行うと盛り上がるのではないかな。</p>
事務局	<p>まめぼの機能で「お知らせ機能」があるため、そちらでの周知を考えている。また、ポイント付与等については今後検討していきたい。</p>
委員	<p>これまで毎年市内のいろんな飲食店で野菜たっぷりメニューの提供をしてもらっていたと思うが、今年はそれはなしで、三河武士ごはんにシフトしていくという事になるか。</p>
事務局	<p>今年度は三河武士ごはんという形で進めている。三河武士ごはんについても、野菜120gを目指すという形で各飲食店にお願いしており、野菜たっぷりメニューの定義とは異なるが、主食主菜副菜がそろった野菜たっぷりのメニューという定義にはなっている。</p>
委員	<p>そうすると、今回の三河武士ごはんは20店舗だが、今までの野菜たっぷりメニューの提供店はもっとあったと思うが、店舗数がへっている。そのあたりは飲食店から意見等はなかったのか。</p>
事務局	<p>今は第一弾として20店舗となっているが、引き続き野菜たっぷりメニュー提供店にもお声がけして数が増やせると良いと考えている。三河武士ごはんの提供が難しいが野菜たっぷりなら可能という店舗があれば、また検討していきたい。</p>
委員	<p>三河武士ごはんは三河武士ごはんに進めていただいて、野菜たっぷりメニューについては、野菜を何グラム以上入れたメニューという事で、ある意味一番間口が広いと思うので、別で残していただいた方がいいのではないかなと思う。</p>
委員	<p>三河武士ごはんについてはどういった形で募集したのか。</p>
事務局	<p>本会議の委員の所属でもある岡崎市食品衛生協会にお声がけし、そこから各飲食店さんに募集をしている。</p>
委員	<p>今現在は20店舗だが、これで切るのか。これ以上の応募は受け付けられないのか。</p>
事務局	<p>提供していただける店舗があれば随時追加し、周知も行っていく。</p>
議長	<p>現在は家康ブームに乗って、飲食店を中心に取組を行っているが、ブームが終わった後、各家庭でも野菜を食べてもらう方法について、御提案があればお願いしたい。</p>
委員	<p>健康づくり講座の中で、食生活改善協議会さんが家康めしを作ってみようという企画を行うと聞いている。家康めしについて、私は知らなかった。親戚が集まった時などに、こういった情報があると行けるなと思う。家康ブームが去ったとしてもよい取組は残ると思うので、周知も含めて検討してほしい。</p>
議長	<p>家康めしのPR 市民全体に届いていないのではないかなというご意見。</p>
事務局	<p>各施設にポスターを貼ったり、ホームページでの御案内は行っているが、今後三河武士ごはんの周知を行う際に、併せて家康めしについても情報発信していきたいと思う。</p>
委員	<p>道の駅藤川宿で家康御膳を食べたが、あれは別か。</p>
事務局	<p>別である。</p>
委員	<p>三河武士ごはんを食べたかたに向けて、この事業のバックボーンにはスマートウェルネスシティの推進があるという事をお知らせすると良いのではないかな。</p>
事務局	<p>店舗のポップについてはこのような定義でやっているよということは掲載しているが、スマートウェルネ</p>

	シティに関しては記載していない。検討していく。
委員	家康めし、三河武士ごはんの PR 方法として、若者は YouTube などを見て、飲食店を選ぶ。岡崎市の飲食店を紹介するユーチューバーや、全国的な知名度のある東海オンエア等をお願いしてもよいかと思う。
事務局	東海オンエアは本市の観光推進課で、観光伝道師という立ち位置で PR してもらっている。他課でもお願いしている部分があるが、お金がかかる。なるべく費用がかからない形でやることができるのであれば、そのようなチャンスは絶対に逃さないようにしていきたいと思う。
委員	東海オンエアでなくても、岡崎市内の飲食店を紹介するローカルのユーチューバーもいるため、そのような人たちでもよいかと思う。
事務局	確認をしていく。
議長	ウォーキングアプリの新規ユーザーの確保について、どのような仕掛けがあれば始めようと思うか、御意見をいただきたい。
委員	私もまめぼを利用している。入れたきっかけは歩数を数えようという学校の授業の中で入れた。今続けている理由は、景品応募に参加したくてポイントをためるため。私は抽選のことを知っているが、周りの子はそのこと自体を知らなくて止めてしまっていた。 若い世代は学校等で全員参加のような形にして、景品応募等で続けてもらえると良いのではないかなと思う。
事務局	応募したいと思った品はなんだったか。
委員	私は卵が当たった。ブドウ狩りなども欲しいなと思い応募したことがある。私の母も勧めたらアプリを入れていたので、ユーザーが家族等に広げていくのもよい。
議長	野菜摂取量の増加・食生活の改善という点で乳幼児から高齢者までの多くの世代に周知をしていく方法について御提案等いただきたい。
委員	食生活改善協議会として長期休みに親子料理教室を開催しているが、3倍以上の申し込みがある。開催後のアンケートを見ていると、普段食べない野菜を食べられた、自分で作ったものはとてもおいしかったなどの意見をいただいている。 そこで、「野菜を食べましょう」というだけでなく、自分で作るとおいしいよ、一緒に作ってみようなどの声掛けもできると良いのではないかな。
委員	子どもの段階から家庭でたくさん野菜が出てくると、当たり前のように野菜摂取ができると思う。資料3・4の中高生向けアンケート案において、野菜摂取に関する設問がないように思う。若い世代に食生活や野菜摂取についてアピールするのであれば、そのあたりもアンケートに入れた方がよいのではないかな。
事務局	中高生については、朝食摂取に関する設問は設けているが、野菜については特に設けていない。設問数はあまり多くない方がよいかと思うため、どこに力を入れていくのかを検討しながら、アンケート内容についても検討をしていきたい。また、食育の計画があり、その中で食生活に関する設問は設けている。野菜摂取目標量の子どもの値は、明確には示されていないのでそのあたりも踏まえ検討していく。
事務局	資料1「令和5年度 健康おかざき21 計画推進協議会」の議題2「令和5年度 of 取組について」の②その他重点取組について説明
委員	熱中症対策の中で、施設に経口補水液を準備とあるが、どのような対象に出しているのか。
事務局	こちらは、各施設によって異なるが、体調不良者が出たときに使用できるようあらかじめ準備しているということで回答いただいている内容になる。
委員	経口補水液ではなく比較的安価なミネラルウォーターなどをイベント等でたくさんのかたに配った方が

	効率がよいのではないかと思った。
委員	市と協定を締結ということで大塚製薬が作成したポスターにおいて「ポカリスエット」を飲んでいるがポカリスエットは糖分がかなり多い。安全だと思って積極的に飲んでいる人もいるが、糖尿病が悪化する人を診療しているから見かける。また、清涼飲料水ケトースという、急に血糖値があがり、今まで糖尿病でなかった人が毎年何名か来院する。そのため、このような形で啓発するのはどうかなと少し感じた。実際にペットボトル 500ml で角砂糖が 10 個近く入っているの、一般的には大丈夫かもしれないが、そのようなリスクがあるという事を知ったうえで飲んでいただきたいと思う。 一般的に幅広く配布するというのであれば麦茶やミネラルウォーターで十分ではないかと思う。
事務局	協定締結の関係もあり、ポスターにはポカリスエットを掲載しているが、出前講座等で説明する際には通常の水分補給は水やお茶でとお伝えしている。そのような周知については今後も継続していく。
委員	熱中症弱者、特に独居の高齢者等だと、ご自宅でクーラーをつけずにいるということもあると思うので、そういう方々にどうアプローチするかということは難しいかと思うが、例えば民生委員等に様子を見ていただくなどできると良いのではないか。
事務局	今年度、民生委員や社会福祉協議会等、地域で高齢者家庭を回っている団体向けに、お話をさせていただき時間を作ってもらい、熱中症について御説明するとともに、各家庭に配布していただくチラシもお渡しした。高齢者の中にはエアコンが苦手とおっしゃるかたも大勢いらっしゃるため、各団体へは長期的に見た気温の上昇等もお伝えしながら、各家庭を気にかけていただけるようお願いした。 地域みんなで見守っていけるような形が取れると良いと考えている。
委員	熱中症弱者という点で、自宅近所にある中学校で、熱中症警戒アラートが発表されている日でも、校庭で部活動や運動をしている子どもたちを見かける。 市の方から学校に対してアプローチや注意喚起をすることができるのか。
事務局	文部科学省から教育委員会を通じて各学校へ通知が出されており、基準やマニュアルが整備されている。各学校の百葉箱などで、気温等確認したうえで、中止等の判断をしている。
委員	その割には、そのような暑い日に校庭で何かやっているのを見かけたのだが。
事務局	保護者へも今日は水泳中止、部活動は中止などの連絡が入っており、基準に沿って対応をしている。組織的にはそのようなルールがあるという事で御理解いただきたい。
委員	理解した。あまり目に余るようだったら直接声をかけようと思う。
議長	これで議題を終了する。